

令和5年度 学校評価アンケート集計結果について

1 実施

(1) 対象者 教員（常勤職員）、全校生徒及びその保護者

(2) 期間 教員 11月29日（水）～12月 5日（火）

生徒 11月29日（水）～12月 5日（火）

保護者 12月 6日（水）～12月12日（火）

(3) 方法

①さくら連絡網に google form で作成したアンケートを添付して、回答を依頼した。

・生徒用については、並行して各学年のクラスルームに課題として配信した。

・保護者用については、期間を1週間延長して実施した。

②集計は匿名で行った。

③各項目を次の段階で評価する。

A：よく当てはまる

B：どちらかと言えば当てはまる

C：どちらかと言えば当てはまらない D：まったく当てはまらない

E：わからない（判断できない）

④教員及び生徒用はA・B・C・Dの4段階、保護者用はA・B・C・Dの4段階の他、Eを加えた評価を実施した。

⑤改善に向けた提言を頂くという観点から、自由記述を求める設問も設けた。

(4) 回答数

【今年度】教職員 46（90.2%↑）、生徒 649（90.5%↑）、保護者 455（63.5%↓）

【前年度】教職員 42（85.7%）、生徒 495（69.3%）、保護者 589（82.6%）

2 考察

次の2点について、評価の観点とする。

①肯定的評価（A+B）の割合

②前年度との比較のために、Aを100点、Bを70点、Cを40点、Dを10点と点数化して各項目の平均値を比較

(1) 教職員対象アンケート

【①の視点】

25項目中20項目（昨年度と同数）で80%を超え、うち13項目（昨年度は16）が90%を超える。このことから、教職員からは全体的に高い評価を得ていることがわかる。肯定的評価の割合が80%を上回るもののうち、昨年度に比べて肯定的評価の割合が特に増加したものには、「24HP・広報」（+11%）、「19防災体制」（+7.4%）、「1学校経営」（+7.3%）、「18危機管理」（+5.4%）等がある。特に、「18危機管理」と「19防災体制」についての肯定的評価が増加した背景には、防災マニュアルや危機管理マニュアルの見直しを図ったことが影響しているものと思われる。一方、肯定的評価の割合が80%を下回るもののうち、特に肯定的評価の割合が減少したものには、「21施設・設備」（-12.1%）、「22環境・美化」（-12.0%）、「4校務分掌」（-11.4%）、「5有機的連携」（-9.8%）等がある。

【②の視点】

前年度比でプラスに転じた項目は15、マイナスに転じた項目は10であった。特にプラスに転じた項目で目立つものは、「19防災体制」（+5.7点）と「24HP・広報」（+5.3点）である。一方、マイナスに転じた項目で目立つものは多くないが、「7教育課程」（-4.6点）や「5分掌間連携」（-4.1点）等がある。

【自由記述】「新任職員にも理解しやすい各種資料の準備」、「各学年・各分掌間の連携強化」等、組織運営についての記述と、「校内ネットワークの脆弱性回避」、「雨漏り等あらゆる施設の修繕」等、施設・設備の改善や校内環境の美化についての記述が見られた。

(2) 生徒対象アンケート

【①の視点】

13 項目中 9 項目（昨年度は 11）で 80%を超え、うち「5 学校行事の充実」（93.1%）と「2 学校の雰囲気」（92.8%）の 2 項目（昨年度は 4）が 90%を超える。このことから、生徒からも全体的に高い評価を得ていることがわかる。コロナ明けて、学校行事・地域行事等が再開され、生徒の活動の場面が十分に補償されたことが高評価につながったものと思われる。一方、肯定的評価の割合が 80%を下回るもののうち、特に肯定的評価の割合が減少したものには、「9 授業内容」（-7.8%）がある。生徒による授業評価アンケート等を参考にしながら、継続的に授業改善に努めていきたい。

【②の視点】

前年度比でプラスに転じた項目は 2 つ、一方マイナスに転じた項目は 11 であった。しかし、13 項目のうち 10 項目の平均点が 70 点以上である（肯定的評価 A = 100 点、肯定的評価 B = 70 点と点数化している）ことから、生徒たちからも概ね肯定的な評価を得ていることがわかる。一方、平均点が 70 点を下回った項目には、「8 施設・設備」、「9 授業内容」、「13 情報発信」がある。「8 施設・設備」については、wi-fi 環境の整備やトイレの洋式化等、段階的に改善できるよう努めているところである。「9 授業内容」や「13 情報発信」については、生徒たちの意見も取り入れながら、より効果的な取り組みにできるよう努めていきたい。

【自由記述】

「各教科の授業に関するもの」（30 件）、「施設・設備に関するもの」（28 件）、「生徒指導等に関するもの」（13 件）、「教育課程に関するもの」（8 件）、「進路指導に関するもの」（7 件）、「環境・衛生に関するもの」（7 件）等があった。

(3) 保護者対象アンケート

【①の視点】

18 項目中 8 項目（昨年度と同数）で 80%を超え、うち「1 入学させて良かった」（96.2%）、「11 学校行事等の充実」（94.5%）、「17 地域からの信頼」（93.6%）、「12 生徒会・部活動等の充実」（92.5%）、「2 教育方針の理解」（92.0%）の 5 項目（昨年度と同数）が 90%を超える。このことから、保護者にとっても満足度の高い学校であることがわかる。一方、肯定的評価が 80%を下回る項目のうち、特に肯定的評価の割合が減少したものには、「9 いじめ対応」（-6.8%）がある。回答の割合をみると、A（昨年度比-10.5%）、B（+3.7%）、C（-0.7%）、D（+0.3%）、E（+7.3%）」となっていることから、該当する生徒が限定されているために「わからない（判断できない）」と回答された方が増加したことが影響しているものと考えられる。また、「14 施設・設備」（-4.7%）についても、肯定的評価が継続してマイナスになっている項目である。本校では、施設設備の整備（wi-fi 環境の整備やトイレの洋式化等）や冷暖房の有効活用等、予算と相談をしながら可能な範囲で努力しているところであるが、より快適な学習環境を構築するために、継続的に努力していきたい。

【②の視点】

前年度比でプラスに転じた項目は 6 つ、一方マイナスに転じた項目は 12 であった。但し、18 項目のうち 10 項目の平均点が 70 点以上である（肯定的評価 A = 100 点、肯定的評価 B = 70 点と点数化している）ことから、保護者の方々からも半分以上の項目については肯定的な評価を得ていることがわかる。平均点が 70 点を下回った項目については、次年度以降意識して改善できるよう努力していきたい。

【自由記述】

「施設・設備に関するもの」（15 件）、「教育課程に関するもの」（10 件）、「生徒指導等に関するもの」（8 件）、「進路指導に関するもの」（7 件）、「各教科の授業に関するもの」（5 件）、「環境・衛生に関するもの」（4 件）等があった。